

決議第1号

野洲市民病院実施設計業務の継続・完了を求める決議（案）

上記の議案を提出する。

令和2年12月18日

提案者	野洲市議会議員	橋 俊明
提案者	野洲市議会議員	工藤 義明
提案者	野洲市議会議員	山本 剛
賛成者	野洲市議会議員	山崎 敦志
賛成者	野洲市議会議員	坂口 重良
賛成者	野洲市議会議員	野並 享子
賛成者	野洲市議会議員	東郷 正明
賛成者	野洲市議会議員	鈴木 市朗
賛成者	野洲市議会議員	矢野 隆行
賛成者	野洲市議会議員	津村 俊二

決議第1号

野洲市民病院実施設計業務の継続・完了を求める決議（案）

新型コロナウイルスの脅威は、自治体及び市民に医療体制の重要性を改めて認識させると共に、地域医療の中核を担う病院の存在意義の大きさを証明した。

言うまでもなく、野洲市において中核医療を担っているのは市立野洲病院である。しかし、同病院は10年以上前から老朽化と耐震性の不足に加え、建増しを繰り返したことによる構造的問題を抱えており、平成28年には専門家委員会から全面更新が必要との指摘を受けている。市民の命と健康を守る良質な医療の提供という観点から判断すれば、既に限界を超えた病院である。

従って市立野洲病院の更新は、正に喫緊の課題であり、遅滞は許されない。こうした状況の中、栢木市長は市長選挙において「現地で建替えれば、半額で早くしかも病院を運営しつつ整備できる」と力強く断言し、当選した。そして、市長に就任し初登庁の日に野洲市民病院実施設計業務契約を一時中止された。その理由を「審査機関への手数料等が必要となるから」と令和2年第6回定例会で説明している。また橋議員、鈴木議員、野並議員、田中議員の一般質問への答弁では「現地建て替えは私案」と大きく発言を後退させ、「野洲市民病院整備運営評価委員会に専門部会を設置した上で、現敷地での建替え案の実現性について検証」と答弁された。

新病院整備案は、市民の意見聴取を何度も実施すると共に、実際の医療提供時にスムーズな動線となるよう、医師や看護師ら医療現場の意見聴取を繰り返し、作業動線の合理化などのブラッシュアップを重ねた、市民と現場により積み上げた成果である。これは今後栢木市長の下での病院整備にも、議会や市民との検討の際の資料としても非常に有効である。

よって一時中止した実施設計業務を再開させ、審査機関への手数料等を除く野洲市民病院実施設計業務の本体部分を完了させることを求める。

以上、決議する。

令和2年12月18日

野洲市議会